

社団法人日本心理学会研究集会等助成金成果報告書

<p>代表者氏名 (ふりがな)</p>	<p>熊田孝恒 (くまたたかつね)</p>	<p>所属</p>	<p>産業技術総合研究所</p>
<p>研究集会等名称</p>	<p>技術心理学支援・促進研究会</p>		
<p>成果概要</p>	<p>1) 参加人数(会員・非会員及び認定心理士の人数を記載してください)</p> <p>会員 15名(うち認定心理士 1名) 非会員 20名(うち認定心理士 0名)</p> <p>2) 集会等の目的・成果等 (実施内容・成果・将来計画等を用紙範囲内に記載してください)</p> <p>本研究会は、実験心理学や基礎系心理学が、世の中にどのように役立つのかを、具体的に議論しようという主旨のもとに発足した。実際に実験心理学などの基礎的な心理学の知識や技術が実社会でどのように用いられてきたのかを、現場のフィールドで活躍されている方々のお話を伺い、あるいは、実社会での貢献を目指した心理学者の取り組みを紹介し、それらに基づいて、今後の発展の方向性を探る。研究会の活動として、今年2回の研究会の開催を予定している。</p> <p>2009年度は下記に示した2回の定例研究会(第1,2回)を開催した。定例研究会の開催案内は、日本心理学会ホームページ、他学会のMLで配信し、広く参加者を募った。また、研究会活動報告用のHP(http://techpsy.jp)を作成した。</p> <p>1. 技術心理学支援・促進研究会 第1回研究会 日時：2009年12月20日 14:00-17:00 場所：目白大学 新宿キャンパス(10号館10509教室)</p> <p>1. 特別講演：熊田孝恒(産業技術総合研究所) 「技術心理学支援・促進に関する展望」</p> <p>2. 特別講演：鹿志村香(日立製作所) 「デザインから心理学の基礎研究への期待」</p> <p>参加数：35名</p> <p>2. 技術心理学支援・促進研究会第2回研究会 日時：日時：3月27日(土) 土曜日午後18時～17時 場所：昭和女子大学 大学1号館5階 5S05教室</p> <p>1. 特別講演(18:00～16:30) 綾部 早穂 先生(筑波大学大学院人間総合科学研究科・准教授) 「academeとindustryが接点をもつとき：米国企業での味嗅覚研究の経験から」</p> <p>入戸野 宏 先生(広島大学大学院総合科学研究科・准教授) 「私の考える工学心理学—これまでとこれから—」</p>		

2. ショートトーク (一般演題、16:30~17:00)

中島定彦 先生 (関西学院大学文学部) 「平和で豊かな暮らしに役立つネズミ心理学」

木村敦 先生 (農研機構・食品総合研究所) 「食に関わる消費者心理・行動の計測」

和田有史 先生 (農研機構・食品総合研究所) 「味覚の熟練度を測る 真度と精度を用いて」

参加人数 : 29 名